

2-1-1 教員の学位や業績

【体育学部】

体育 学 科	名前(読み)	梶谷 亮輔 (かじたに りょうすけ)
	職 名	講師
	取得学位	博士 (コーチング学)
	専門分野 研究領域	コーチング学, 陸上競技方法論, トレーニング
	担当授業	コーチング論, 陸上Ⅰ, 陸上Ⅱ, 体育理論, セミナールⅠ・Ⅱ, 卒業研究, IPUジェネリックスキルズⅡ, 教育実習事前事後, フレッシュマンセミナー
	研究業績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 梶谷亮輔, (2022) 続・私の考えるコーチング論：科学と現場経験の融合. コーチング学研究. 2. 梶谷亮輔, 木越清信 (2022) 陸上競技者における反動動作特性を評価する方法. 陸上競技研究, 128: 2-13. 3. 梶谷亮輔, 前村公彦 (2021) 男子スプリンターにおける縦断的な評価からみた疾走動作の特徴. 陸上競技研究, 127: 13-20. 4. 梶谷亮輔, 前村公彦, 山元康平, 水島淳, 尾縣 貢, 木越清信 (2021) MCT-jump testで評価される反動動作特性とスプリント走の接地時間との関係. 陸上競技学会誌, 19;1-10. 5. 梶谷亮輔, 前村公彦, 山元康平, 関慶太郎, 尾縣 貢, 木越清信 (2018) ジャンプ運動における個人の反動動作特性を評価する方法の開発. 体育学研究, 63(1);139-149. 6. 梶谷亮輔, 山元康平, 奥平柁道, 齋藤仁志, 前田 奎, 広瀬健一, 尾縣 貢, 木越清信 (2017) 短距離競技者における加速局面の疾走動態の変化が疾走速度に及ぼす影響. 陸上競技研究, 109; 12-18. 7. 品田直宏, 梶谷亮輔 (2021) 大学1年生女子100mハードル競技者における1年間のトレーニング実践-パフォーマンス向上およびレースパターン改善の試み-. コーチング学研究, 35:115-126. 8. 水島淳, 梶谷亮輔, 九鬼靖太, 柴田篤志, 前田奎, 大山卞圭悟, 尾縣貢 (2021) 児童を対象とした裸足による疾走指導の効果. 体育学研究, 66: 703-714. 9. 品田直宏, 熊野陽人, 田中耕作, 梶谷亮輔 (2020) 学生跳躍競技者におけるジャンプ能力とパフォーマンスとの関連性—性差に着目して—. 陸上競技研究, 122;34-43. 10. 山元康平, 宮代賢治, 内藤景, 白木駿佑, 梶谷亮輔, 大山卞圭悟, 木越清信, 尾縣貢 (2019) 400m走競技者のアセスメントのための簡易指標作成の試み. 陸上競技研究, 117; 34-44. 11. 山元康平, 宮代賢治, 内藤景, 白木駿佑, 梶谷亮輔, 大山卞圭悟, 木越清信, 尾縣貢 (2019) 女子400m走におけるタイプを考慮したモデルレースパターンの作成. 陸上競技学会誌, 17; 35-45. 12. Kei Maeda, Keigo Ohyama-Byun, Jun Mizushima, Daisuke Yamamoto, Kenichi Hirose, Ryosuke Kajitani, and Mitsugi Ogata (2018) COMPARISON OF WORLD ELITE AND JAPANESE ELITE THROWERS IN THE DISCUS THROW. 36th Conference of the International Society of Biomechanics in Sports 10-14. 13. 前村公彦, 吉岡利貢, 梶谷亮輔, 山元康平, 遠藤俊典, 木越清信, 谷川 聡 (2018) 女子ロングスプリンターにおける股関節内転筋群の形態的特性とロングスプリントパフォーマンスとの関係. 陸上競技学会誌, 16; 19-26.
	所属学会 学会活動	日本体育学会、日本陸上競技学会、日本コーチング学会、日本体育科教育学会、日本スプリント学会、大学地域連携学会
	社会貢献	日本陸上競技学会一般研究発表 (座長)、岡山県総合教育センター研修講座講師